

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【保健福祉部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉総合相談窓口への移行を検討されたい。 ・ 保育所待機をゼロにする措置を取られたい。 ・ 生活保護の適正な執行をされたい。不正受給対策を強化されたい 	<p>「福祉総合相談窓口」への移行についてではありますが、現在は、複合的な相談に対応するため、各部の窓口での連携を図るとともに、情報の共有や、必要に応じて、相談を受けた担当者が、他部局の窓口に同行するなど、取組んでおります。</p> <p>一例ではありますが、現在、生活困窮者の相談体制については、生活福祉課とハローワークが連携して相談できる体制をとっているところでありまして、本庁舎の5階で課の番号表示を行い、市民が分かりやすい窓口を目指しております。また、年度末、年度当初には、5階のエレベーターホールに窓口案内職員を配置しております。</p> <p>いずれにいたしましても、複合的な相談に的確に対応するためのあり方を検討する中での課題のひとつと捉えており、市民が相談しやすい環境づくりに、取組んでまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（保健福祉部地域福祉課）</p> <p>待機児童の解消については、これまで、施設の新設、増改築を含めた保育所定員の増や、認定こども園の幼保連携型への移行、入所円滑化による定員の弾力化や定員のフラット化により、取り組んでまいりました。</p> <p>特にも、平成15年度から25年度までの11年間で、16箇所の保育所を新規に開設し、増改築等による定員増と併せて1,510名の定員増を図ってきたところです。</p> <p>また、平成25年度中に4箇所の保育所の増改築等を実施し、平成26年度当初においては60名の定員増を実施する予定としております。</p> <p>今後においては、これらの取組みに加えて、国が実施する「待機児童解消加速化プラン」にも参加し、待機児童の解消に向けて、取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">（保健福祉部児童福祉課）</p> <p>生活保護の実施については、福祉事務所としての組織的な対応と、保護の受給要件の的確な把握や世帯の生活実態の把握を徹底しているほか、関係機関との連携強化や研修等を通じた査察指導機能及びケースワーク技術の向上により、適正な実施に努めているところでありまして。</p> <p>また、国や県による生活保護法施行事務監査が毎年度実施されており、監査での指導</p>

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校を卒業後における重度障がい者の進学先の確保に努力されたい。 ・ 市独自の自立支援協議会を作っていただきたい。 ・ 介護施設の増設、定員増を前倒しで進められたい。空き施設などのあっせんなど他の部署との連携を取られたい。 	<p>等に対する事務改善により、適正かつ円滑に生活保護事務を執行しているところであります。</p> <p>不正受給対策としては、保護開始時に「保護のしおり」を交付し、権利・義務の説明を十分に行っており、継続ケースに対しては、毎年度、課税状況調査を行っているほか、年に2回、権利・義務や不正受給防止に関するリーフレットを全保護世帯に送付し、不正受給防止について周知徹底を図っております。</p> <p>今後とも、法令や実施要領等に基づき、適正な保護を実施してまいります。 (保健福祉部生活福祉課)</p> <p>重度障がいのある中学生については、岩手県立特別支援学校中等部に在籍しており、全員が特別支援学校高等部に進学し、進学先を確保されております。 (保健福祉部障がい福祉課)</p> <p>盛岡市自立支援協議会については、平成25年5月に設置し、盛岡市における障がい者等への支援体制に関する課題の解決を図るため、協議を進めております。 (保健福祉部障がい福祉課)</p> <p>平成24年度から26年度を計画期間とする第5期介護保険事業計画において、入所待機者の状況や、施設整備による介護給付費への影響を勘案しながら、保険料とのバランスに配慮して、特別養護老人ホーム180床、認知症高齢者グループホーム81床などを整備することとし、平成26年度は特別養護老人ホーム90床を整備する予定であります。</p> <p>増設や定員増を前倒しで進めることについては、第5期計画で見込んでいる介護給付費に影響するものであり、その財源の一つである保険料に不足が生じることと見込まれることから、難しいものと考えているところであり、ご理解をいただきたいと存じます。</p> <p>また、平成27年度以降の施設整備につきましては、平成26年度に実施する第6期介護保険事業計画の策定の中で検討することとしており、入所待機者の推移を注視しながら、整備量を決定することとしております。</p> <p>空き施設などのあっせんについては、通所介護等の開設にあたり問い合わせのある事業者に対しては、盛岡まちづくり株式会社との連携を図りながら、把握している中心市街地の空き店舗の情報を紹介してまいります。</p>

盛岡市議会会派「絆の会」平成26年度予算要望への回答

団体名： 絆の会

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 難病患者に対する各種支援を講じられたい 	<p>なお、「求職者個別支援事業（パーソナル・サポート事業）」は、緊急雇用創出事業（県基金）の活用により、平成26年度まで継続実施することとしており、平成27年度からは、生活困窮者支援制度の法定化により、法定事業に移行する予定としております。</p> <p style="text-align: right;">（保健福祉部障がい福祉課・生活福祉課）</p> <p>患者及び家族が、病気を正しく理解し、療養上の不安を解消し、安心して療養生活を送ることができるよう、「医療講演・医療相談会」を開催し、専門医による講演や個別相談、当事者同士の情報交換の場を設置しております。保健師による療養相談については、随時実施しており、医療との連携が欠かせないことから、難病医療専門員（県が岩手医大へ委託）等と連絡をとりながら支援を行っております。</p> <p>また、「障害者総合支援法」により、2013年4月から、新たに難病の人が障がい福祉サービスなどを利用できるようになり、必要と認められた障害福祉サービス（介護給付・訓練等給付）、補装具（車いすや歩行器などの購入・修理に必要な費用の支給）、日常生活用具給付などのサービスが利用できます。なお、このことに関し、市医師会、市内医療機関等に対し周知及びポスターの掲載依頼を行うほか、市ホームページ等により周知に努めているところです。</p> <p>難病患者への就労支援につきましては、経済団体等との打合せの機会などで、難病患者への理解を図るとともに、難病患者であることが分かった場合には、ハローワーク難病患者就職サポートにつなげてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（保健所保健予防課・保健福祉部障がい福祉課・商工観光部企業立地雇用課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新庄墓園などの適正な管理を行われたい。 	<p>新庄墓園及び青山墓園は、平成18年度以降、指定管理者による管理を行ってまいりましたが、指定管理者が新庄墓園・青山墓園の管理運営に関する基本協定に違反したこと及び度重なる市の事情聴取に対し虚偽の報告をしてきたことにより、平成25年11月30日付けで指定の取消処分を行ったところです。</p> <p>来年度につきましては、指定管理者の応募がなかったことから、直営で管理することになりますが、利用者の皆様にご不便をおかけしないように適切な管理運営を行ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">（保健所企画総務課）</p>